

地域貢献としての外来訓練の実施

施設名 長野しょうとく園

① 活動実施の背景・実施に至った理由・思い

当園が対象とする地域には、理学療法・作業療法言語療法の外来訓練を行う施設（病院など）が少なく、外来訓練を受けるには大阪市内などの遠くまで行かなければならない実態がありました。

当園に通っているときは、訓練を行うことができていた子どもたちが、卒退園すると訓練を引き続き受けることが難しくなるのは問題ではないかという思いと、卒退園児のみの関わりだけではなく、地域で訓練を希望されている保護者にも可能な限りサービスを提供しようという事になりました。

② 取り組みの内容

当園を卒退園された児のみならず地域で、外来訓練を希望されている方に対し通園で培った知識・技術を子ども達に提供すると共に自宅での関わり方の助言を行い、障がいをもちながら生活していく事へのサポートを行っています。

また、地域で関わる保育所や学校の先生に向けても訓練見学等で子どもの特性や関わり方の工夫の助言を行っています。



③ 活動の効果・課題

幼少期より継続的に訓練士が関わる事により、その時々の問題点に対して的確に助言をおこない、又、今後予想される事への対応も早く行う事が出来ています。

地域で障がい児に関わる先生方への啓蒙活動にもなり、障がいをもった子ども達が地域で生活をしやすくなるサポートにも繋がっていると思われま

④ 今後の展開・夢

引き続き事業の継続を行い、成長に伴う特有の課題となる可能性の事柄をいち早く提示し、アドバイス出来るように心がけています。

また、我々訓練士の考え方や関わり方が地域で生活をする障がい児に対する理解を深め、障がい児が生活しやすくなることの手助けになることが希望です。そして、当園が地域の障がい児にとって頼れる場所になるようにしたいと思います。

